

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
渋谷幕張	千葉市	ハイレベルな入試が続く地域の私立トップ校。入試の変更点はなし。模試では男子の希望者がやや増えているよう。もともと高倍率なので、難度そのものはあまり変わらないと思われる。厳しい入試になることが予想される。
昭和学院秀英	千葉市	入試の変更点はなし。模試によって希望者の動向に違いが見られるが、比較的学力上位の希望者は、男子が2015年並み、女子がやや減、中堅の学力層では男女とも少し減少気味。12月の1回第一志望、1月22日の2回一般、2月4日の3回一般とも、応募者は少し減るかもしれない。しかし難度は下がらず、2016年入試並みを維持しそう。
千葉明德	千葉市	グローバル化対応で英語入試を新設。各回ともあまり難度は変わらないと思われる。
県立千葉(公立一貫校)	千葉市	相変わらず高い人気。模試では、比較的学力上位の女子にやや敬遠ムードが出ているようだが、難度に影響はない。2017年も高難度の入試になりそう。
市立稲毛(公立一貫校)	千葉市	高い人気で安定している。模試の希望者数は2015年同時期とあまり変わっていない。2016年入試並みの難度になるとと思われる。
千葉大附属(国立)	千葉市	隔年的な変化で模試の希望者数は増えている。やや難化するかもしれない。注意した方がよい。
市川	市川市	1月20日の1回で英語選択入試を新設。模試では、比較的学力上位の希望者では、男子が増えて女子がやや減っている。中堅の学力層の希望者は男女とも少し減っていて、敬遠傾向が見られる。1回は幕張メッセを使うマンモス入試で、少々応募者が減っても難度はあまり変わらないと思われる。2月4日の2回は毎年少数激戦。こちらも2016年とあまり変わらない難度になりそう。
八千代松陰	市川市	模試によって希望者の動向に違いが見られる。男女合計すると、希望者数は2015年とあまり変わらないよう。自己推薦の日程が変更されるが、大きな変更ではない。12月の推薦入試を含め、各回とも難度は2016年入試並みだと思われる。
昭和学院	市川市	21世紀型教育対応でプレゼン型入試を新設。各回ともあまり難度は変わらないと思われる。
日出学園	市川市	4科の一般入試を2科4科に変更。模試によって希望者の動きに違いが見られるが、男子はやや希望者増加、女子はその分減少といった傾向。難度面では、12月の推薦は2016年入試並み、1月20・23日の一般入試は、科目変更によって若干入りやすくなるかもしれない。
東邦大東邦	習志野市	2017年度から帰国生以外の高校募集を停止して、完全中高一貫校に移行。同時に12月に推薦入試を新設。模試では、新設の推薦入試に多くの希望者がいて、高倍率の激戦が見込まれる。前期入試並みの難度になりそう。1月21日の前期は、推薦入試の新設で希望者がやや減っているが、実際には推薦の不合格者が流れ込むため、入りやすくなることはないと思われる。2月の後期は少定員なので、高倍率の厳しい入試になりそう。
千葉日大第一	船橋市	入試の変更点はなし。模試では、男子は2015年とあまり変わらない希望者だが、女子は各回やや増えている。12月の第一志望入試を含め、応募者は各回ともやや増えるかもしれないが、難化するほどではなさそう。
芝浦工大柏	柏市	入試の変更点はなし。模試では、2016年に新設されたグローバルサイエンスクラスの希望者が増加傾向、一般は少し減っている。各回とも難度は2016年入試並みになりそう。
麗澤	柏市	1月21・22日の1・2回のEEコースの入試科目を国算理+社会または英語から、国算+社理または英語とし、英語のウェイトを高める。1月25日の3回も同様の科目とする。2月入試は午後入試から午前に移行して、国算にグループワークや記述を加えた表現力テストとする。模試では、全体的にAEの希望が増えている、EEは2015年並みかやや減っている。AEからEEへのスライド合格があることで上位レベル志向が強くなっていて、トータルの人気が上がっていると判断できる。各回ともAEはやや難化するかもしれない。EEは2016年入試並みの難度だと思われる。
二松學舎大附属柏	柏市	入試の変更点はなし。各回とも難度に変化はなさそう。
東葛飾(公立一貫校)	柏市	2016年に公立一貫校として開校し、高い人気となった。2017年も人気は続いている。「まわりが受験するから」といった動機の受験生が多かった2016年とは異なり、2017年はしっかり準備した受験生中心になりそう。応募者は減るかもしれないが、質的に高い入試になりそうです。難度は2016年とあまり変わらないと思われる。
専修大松戸	松戸市	入試の変更点はなし。模試では、1月20日の1回は、比較的高学力で他校併願前提の希望者が増加、中堅の学力層では志望順位が高い希望者が増えている。26日の2回や2月の3回は希望者が少し減っている。2・3回は1回の不合格者が再挑戦するので、応募者が目立って減るとは考えにくい。1回はやや難化するかもしれない。2・3回は少なくとも2016年入試並みの難度と考えた方がよさそう。
東海大浦安	浦安市	入試の変更点はなし。模試では、男子は2015年とあまり変わらない希望者だが、女子は少し減っている。12月の推薦は2016年入試並みの難度、1月の一般A・Bは少し入りやすくなるかもしれない。
東京学館浦安	浦安市	中学の募集を停止。
成田高附属	成田市	模試によって希望者の動向に違いが見られる。推薦入試は行わない代わりに、1月21日と31日の入試で専願優遇を打ち出した。どちらもやや入りやすくなりそう。
秀明八千代	八千代市	各回ともあまり難度は変わらないと思われる。
志学館	木更津市	各回ともに難度に変化はなさそう。
暁星国際	木更津市	各回ともに難度に変化はなさそう。
翔凩	君津市	各回ともに難度に変化はなさそう。
西武台千葉	野田市	一部入試日程の変更があるが入試情勢に影響するものではない。各回とも難度に変化はなさそう。